

34 Lesson 10 I Am Malala (1)

2つを比べて「同じくらい」

英語監修・出演 阿野幸一

きょうの目標 2つのものの程度が同じくらいだと伝えることができる

- 2つのものの程度が同じくらいであることを伝えるには
- マララさんのメッセージ

文法・表現 比較表現（形容詞の原級）as ~ as

2つのものの程度が同じくらいであることを伝えるには

2014年にノーベル平和賞を受賞した、マララさんのスピーチをベースに学習していきましょう。パキスタンでは、教育を受けるのは男子という時代背景がありました。

① **Education for boys is important.**

（男子の教育は大切です）

それに対して、マララさんは女子の教育の大切さを訴えました。

② **Education for girls is important.**

（女子の教育は大切です）

マララさんの主張は、女子の教育も男子の教育と変わらずに大切であるということです。つまり、上記の①と②の2つの内容を、同じくらい大切であると比較することになります。これをあわせて表現すると次のようになります。

Education for girls is as important as for boys.

（女子の教育は男子の教育と同じくらいに大切です）

2つのものを比較して程度が同じくらいだというときには、〈as + 形容詞の原級 + as〉を使って上記のように表現します。原級とは、形容詞や副詞が変化していない、もとの形のことです。

では、別の例でも確認してみましょう。

Yui is sixteen years old.

（結衣は16歳です）

Ken is sixteen years old.

（健は16歳です）

つまり結衣と健はともに16歳で、同じ年齢ということがわかります。2人の年齢を比較して、次のように英語で表現することができます。

Yui is as old as Ken.

(結衣は健と同じ年齢です)

マララさんのメッセージ

では、マララさんが2013年にニューヨークの国連本部で訴えた、スピーチの結びの部分を読んでみましょう。

One child, one teacher, one book, and one pen can change the world.

(たった1人の子ども、たった1人の教師、たった1冊の本、そして、たった1本のペンが世界を変えることができます)

マララさんが訴えている男女の教育の平等は日本では実現していますが、世界で見ると決してこれが当然のこととは言えない状況にあります。田ごろ私たちが、当然のものとして受けている教育について、マララさんの言葉から、教育を受けることの意味を考えてみましょう。

あの先生のこの話!



won の発音

win (～に勝つ) の過去形は won ですが、スペリングの o につられて『ウォン』と発音しがちです。しかし、実際の発音は数字の 1 の one と全く同じです。発音記号では won も one も次のように表記されます。

/wʌn/

英語はアルファベットの文字の名前と発音は異なるので注意しましょう。

